



# 主計局

## 主計局概要

### 国の根幹を担う 自負をもって

主計局法規課課長補佐  
門倉 大輔 [平成10年入省]  
KADOKURA Daisuke

#### 現在の業務内容

主計局の主な業務は各省庁と折衝を重ねながら国の予算を編成することですが、予算編成だけでなく、国の財政の調査分析、決算等、財政に関する様々な業務も行っています。

その中で、私の所属する法規課は、国の予算の

制度や執行手続きを定める財政法、会計法などの法令を数多く所管しており、これら財政会計法令に関する照会事案への対応、予算に影響を与える可能性がある各省庁の法律案等の内容確認や調整を主にしています。

昨年は、新型コロナウイルス感染症への対応において、従来の制度や解釈のままでは対応が

難しい様々な事案が発生したため、財政会計法令の趣旨を踏まえつつ、時代のニーズと両立できるよう、制度の見直し(財政会計法令の改正)を行うなど、財政会計制度が時代に即したものであるために必要な企画立案も行っています。

#### 主計局の魅力・やりがい

「予算」は国民生活に直接影響を与えるものであり、また、それゆえにマスコミや国民の皆様に関心も高く、そのような「予算」の編成に携わる機会を得られること自体が主計局の魅力であり、やりがいだと思います。また、全省庁の予算査定を行っているので、予算を通して、国の様々な行政分野に関与することができることも魅力の1つではないかと思います。

主計局で長年勤務した経験から、予算編成など主計局での勤務は正直大変な面もありますが、国の根幹を担うというやりがいを大いに感じることができる仕事です。ぜひ皆さんにも主計局での勤務を経験していただければと思っています。



### 大きな流れの 一点として

主計局総務第一係長  
小柳 謙二 [平成17年入省]  
KOYANAGI Kenji

#### 現在の業務内容

現在は、総務省予算を担当する係のとりまとめの他、個別の予算担当として、マイナンバーカード関係予算等を担当しています。

マイナンバーカードは、政府のデジタル化の中心ツールとしてその利便性を高めつつ、普及を加速

速化させることが喫緊の課題となっています。予算編成にあたっては、まずは総務省の担当者として、普及に向けた課題の分析や、どうすればカードの交付申請が進むか、効果的な普及策の方法論だけでなく、その効率性や必要性を含めて様々な角度から議論しました。また、マイナンバーカード関連業務のデジタル庁への一部移管等、予算編成

#### 国の予算の編成や決算の作成、会計制度の企画・立案等

社会保障、公共事業、教育、安全保障、食料の安定供給等国の政策実現の裏付けとなるのが予算です。予算編成過程における各省庁との議論を通じ、分野ごとの施策の優先順位を洗い直し、無駄を排除しつつ、限られた予算を経済効果の高い施策に重点的に配分しています。

#### 現在の業務内容

私は現在、主計局の経済産業系において、経済産業省の中でも中小企業対策等の予算を担当しており、9月～12月の予算編成期間中に、担当部局から要求された予算案を査定する業務に携わっています。

査定にあたっては、経済産業省所管の予算を総括する主計官や、各分野の予算を担当する主査の下、担当係全体で、国民視点に立ちながら、政策的に重点化した予算とすることや、積算の妥当性、省庁内や省庁間での事業の重複を排除することなど、多角的に議論し精査を行います。また、議論の末の計数の増減を適切に管理し、予算書にまとめるまでの予算作成業務を行っています。

#### 主計局を志望した理由

一つ目に、国が政策を実行するために事業を行う際には、財源が必要であり、予算措置が必要になることがありますが、この予算措置に関連する業務は国の重要な仕事の一つであり、そのよう



### 予算編成業務を 通じて

主計局経済産業第三係  
尾崎 遼太郎 [平成28年入省]  
OZAKI Ryotaro

なスケールの大きい仕事に携わってみたいと思ったからです。

二つ目に、主計局は、財政(予算や決算等)を通じて、全省庁がカウンターパートとなりますが、一つの局でありながら、様々な省庁の政策について担当することで知見を広げることができることも魅力の一つでした。

開始以後の事情も含めて検討し、予算措置を行いました。

#### 主計局で印象に残っている業務

予算担当として、偶然にも予算編成中の政権交代を2度経験し、時の政権の施策を予算を通じて目の当たりにするという、大変貴重な経験をすることができました。例年の予算編成もそうではありませんが、政権交代時は、政策方針の変更を受けた概算要求のやり直し等を経て、まさにトンネルを抜けたように予算の決定に至ったとき、安堵感と、とても大きな充実感を味わうことができました。

また、財政会計法令等を扱う法規課の所属時には、平成から令和への改元に係る会計制度上の対応など、制度等に大きな影響が生じる案件を経験し、それが形になった時の達成感はこの上ないものでした。

主計局での業務は、時代の最前線において、時の政策に大きく影響するような仕事が多くあり、それも大きな魅力であると感じています。



# 理財局

## 理財局概要

### 国庫・通貨

収入支出の調整(資金繰り)を行う等、国庫金の効率的・統一的な管理、運用を図っています。また、通貨に対する信頼維持のため、通貨制度の企画・立案、通貨の製造計画の策定、偽造対策等も行っています。

## 政策に 一番近い場所で

理財局農林水産・環境係長  
今井 愛 [平成22年入省]  
IMAI AI

### 現在の業務内容

私は理財局農林水産・環境係長として、財政投融資計画の編成・執行業務を行っています。主な担当としては、政府系金融機関を通じた農林水産業者向けの資金繰り支援です。農林水産業には「天候等の影響を受けやすく

収益が不安定」であったり、「育成に時間が掛かる等のために投資回収に長期間を要する」といった特性があることから、民間金融機関のみでは十分な資金供給が行えない場合があります。このため、政府系金融機関を通じた長期かつ低利の資金を供給することで、安定的に農林水産業が発展するよう支援しています。また、昨今

においては、新型コロナウイルス感染症により経営に影響を受けた農林水産業者への財政融資を通じた資金繰り支援も行っています。

### 理財局で印象に残っている業務

理財局地方企画係長として、地方公共団体向け財政投融資計画の策定に携わったことが印象に残っています。地方公共団体は、税収不足などにより財源に不足が生じる場合、地方債という形で外部から資金調達をすることができ、その発行予定総額は総務省作成の地方債計画として上限が定められることとなります。この上限額は、地方公共団体への財政融資資金を含んだ額となるため、最終的な地方債計画の額を考慮しつつ、財政融資資金をよく精査することが必要となります。昨年度においては、地方債計画の改正が何度も行われたことにより財政融資資金の精査についてもその都度行い、それに伴う省令改正等の業務も必要になるなど非常に苦労しましたが、自身の業務を通じて、地方公共団体の財政運営の一端に携わることができ、とても有意義な経験となりました。

### 国債管理

税收等で賄えない歳出需要を賄うため、国債の発行または借入により資金調達を行っています。確実かつ円滑な国債発行により、資金を確実に調達するとともに、中長期的な調達コストを抑制するため国債管理政策を企画・立案し、執行しています。

### 財政投融資

税財源によらない国の投融資活動です。リスクが高く、民間では十分に対応できないもの、政策的必要性から資金供給を行うべき分野に対して、財政債の発行によって調達した資金等を財源として、長期・固定・低利の融資やリスクマネーの供給を行っています。

### 国有財産

国有財産は、国が所有する土地や庁舎等の建物といった不動産、国が政策的な出資により取得した株式等、国民共有の資産です。こうした国有財産を適正に管理または処分し、財政に貢献するとともに、地域・社会のニーズに応じて有効に活用しています。

## 経済活動の インフラとして

理財局総務課課長補佐  
桐越 智哉 [平成8年入省]  
KIRIKOSHI Tomoya

の一部が広く社会に還元され生活に活かされていく大切な役割を果たしており、各地方のたばこ事業を監督する各財務局とも連携・協力しながら、厳しい状況下で、適切な販売・流通が維持されるよう努めています。

### 理財局の魅力・やりがい

これまでの理財局での勤務において、財政投融資業務では財政投融資計画のとりまとめや財投機関への融資等の審査、国債業務では発行計画や流通市場のモニタリングの機会、また、国立印刷局や造幣局の監督業務など、多種多様な分野の仕事をする機会に恵まれています。

このように業務が多岐にわたっていることで、絶えず新鮮な気持ちで好奇心を持って仕事に向き合うことができます。また、こうした業務の幅広さに加え、一見違う業務でもおおよそ共通する事柄があるため、創造力を働かせながらこれまでの経験を活かしていくことができる点にも魅力を感じています。加えて、自分の仕事の成果が実際の経済や事業の動きに連動することが多く実感が得られやすいため、緊張感がありながらも充実感に満ちた業務が送れています。

### 現在の業務内容

私は現在、国における「たばこ事業」に携わっています。具体的には、たばこ事業法等に基づいて、たばこ小売販売業の許可や小売定価の認可、日本たばこ産業に対する監督、国際規制への対応等を行っています。

最近のたばこを取り巻く環境は、喫煙と健康に関する意識の高まり等により需要が減少傾向であるなど、業態としては厳しい状況にある中で、たばこ小売販売店の管理にあたっては様々な課題が生じていますが、それらの各種課題が円滑に解決するように日々対応しています。

たばこの販売は、たばこ税を通じて将来的にそ

## 財政と街の 未来を考える

理財局国有財産業務課  
国有財産管理室指導係  
木村 聖哲 [平成30年入省]  
KIMURA Toshiaki

### 現在の業務内容

国有財産業務課指導係において、国有財産業務のルールブックである通達の制定・改廃や、国有地等の有効活用を図る業務を担当しています。国有地等の有効活用業務においては、数多くある国有地の活用案件の中でも特に大規模な案件に携わっており、民間企業や弁護士、不動産鑑定士など有識者にもよく意見を聞いた上で、各財務局とも協力し、国及び各地域双方にメリットとなるような方針を策定することになります。

この中で私は係員として、よりよい方針策定の基となるよう、不動産に関する各地域のマーケット動向について民間企業にヒアリングするなど、各案件の検討に必要な情報の収集や資料作成、関係各所との調整業務を主に行っています。

### 理財局を志望した理由

国有財産業務は、国有財産の売却等により、国の財政に貢献できるだけでなく、その有効活用

を通じて地域の活性化に繋げることができま。国有財産で規模の大きいものは、活用方法によっては街づくりに大きな影響を及ぼします。そのため、国有財産を含む地区の地区計画について、国有財産の利活用を含め、地方公共団体と協議し、計画を策定するなど、まちの魅力づくり等の様々な分野にも貢献することができます。

また、ひとつひとつの事案を進めていくにあたり、公務員のほか幅広い職種の方とも接することにより、様々な視点や考え方に触れることもできます。

このように、地域活性化に貢献できるとともに、自らの成長に繋げることができると考え、国有財産業務を志望しました。



# 国際局

## 国際局概要

### 国際通貨政策

外国為替市場、内外資金フローの把握・分析や外貨準備の管理等により外国為替制度の運営に当たっているほか、G7、G20、国際通貨基金(IMF)関連の各種国際会議を通じて、国際金融システムの安定に向

## 日本を超えて世界へ

国際局調査課  
外国為替室資金調査係長

塩崎 寛子 [平成23年入省]  
SHIOZAKI Hiroko

### 現在の業務内容

私の所属する外国為替室は、外国為替やその他の対外取引を総合的に対象とする法律である、外国為替及び外国貿易法(外為法)を所管しており、国際金融のグローバル化や国際情勢の変化等を背景とした法令改正やその運用を担っ

ています。

その中で、私は、海外の投資家や企業が対内直接投資を行う際の事前審査制度や、経済制裁措置の実施などに関する業務を担当しています。対内直接投資の制度においては、令和元年10月に、日本経済の健全な発展に寄与する投資を一層促進するとともに、国の安全等を損なう

おそれがある投資に適切に対応していくため、外為法の改正を行いました。その改正に携わったことはとても貴重な経験となりました。

### 国際局で印象に残っている業務

これまで約10年間、国際局に勤務し、外国為替、開発援助及び地域金融協力といった幅広い国際金融分野の業務を経験してきました。その中でも特に印象に残っているのは、開発機関課の担当者として、中南米の経済成長・社会発展を支援するため各国が加盟(出資)している国際機関である米州開発銀行の政策運営に携わった後、アメリカのワシントンDCにある同行の本部の理事室に日本政府の担当者として、2年間出向した経験です。本部での業務においては、同行に加盟する国々の立場が交錯する中で、各国それぞれの意見や立場を正確に把握しながら、日本政府として策定した対処方針に基づくように合意を作っていくしなければならず、とても醍醐味があると同時に、国際間の合意形成の難しさを肌で実感できた貴重な経験でした。

### 開発援助政策

政府開発援助(ODA)の効率的・戦略的な活用、円借款、国際協力銀行、国際開発金融機関(MDBs)を通じた支援、地球環境問題、債務問題への取り組み等、開発途上国における安定的な経済社会の発展に役立つ資金協力等を推進しています。

の要請に応えたものですが、外為法に関わる者として、常に時勢を捉え対応できるように心掛けています。

### 国際局の魅力・やりがい

国際局の魅力は一言で言うところ「風通し」の良さです。役職に関わらず、一担当者として意見を求められることもよくあり、各人が主体性をもって自分の仕事に取り組んでいます。また国際局は、国際金融市場の安定や発展のため、主に、外為法、開発援助、資金運用、地域金融協力の四分野を柱とし、課長補佐前半までに専門性を育成するというキャリアパスの構築を目指しています。これらの分野の選択により、キャリア形成の初期段階で各人が専門性を意識しながら働ける環境が整っています。また、海外留学や国際機関勤務の機会もありますので、海外で得た経験を業務に活かし再び国際機関等の勤務に繋げるという道もあります。

国際社会が抱える課題に挑戦し、新しいチャレンジの積み重ねが自分のキャリア形成に寄与しますので、チャレンジ精神豊かな方にとってはやりがいのある魅力的な職場ではないでしょうか。

### 現在の業務内容

私が所属している資金管理室では、外国為替資金特別会計において、主に外貨準備の管理・運用を行っています。

外貨準備とは、一般的に国際収支の調整や為替介入等の目的のため、政府や中央銀行が保有する外貨建て資産のことであり、日本の外貨準備の規模は世界で2番目に大きく、金融市場からも非常に注目されています。

その上で、外貨準備の運用は、日本に限らず各国において「安全性・流動性・収益性」を追求する運用が行われていますが、「安全性・流動性」と「収益性」は基本的に相反するため、これらのバランスをとりながら運用することが非常に重要となります。

刻々と変動する市場の中で、自分が行う運用に納得できる根拠を見つけることはとても難しいですが、自身の視野を広げることができる業務だと思っています。

### 国際局を志望した理由

私は、今まで海外に触れるような経験をしたこ



## Make difference

国際局為替市場課  
資金管理室特別会計第一係

杉 貴大 [平成28年入省]  
SUGI Takahiro

とがほとんどなく、また、英語にも苦手意識を持っていたのですが、漠然といつかは英語を使い国際社会と関わりを持つ仕事がしたいと思っており、その目的に早く近づけることができる国際局を志望しました。

正直、配属された時点では、国際局について文字通り国際関係の仕事をしていることしか分かって

おらず、配属後も、英語は勿論のこと、国際金融に関するルールや知識などを習得するまで、右も左も分からず非常に苦労しましたが、それ以上に自身の成長に繋がることがとても多く、上司・同僚も親身にサポートしてくれるなど、とてもよい職場環境であり、充実した毎日を送ることができているので、国際局を志望して良かったと思っています。

### 現在の業務内容

私は、外国為替及び外国貿易法(外為法)を所管する外国為替室において、有事規制に係る業務に従事しています。

外為法は、我が国の対外取引に関する基本法として対外取引が自由に行われることを原則として

いますが、一定の要件の下に有事規制を発動する仕組みを備えています。

外為法の歴史は1949年に遡りますが、制定当時は原則禁止とされていた対外取引は1980年の改正により原則自由となり、更に1998年の改正を経て事前の許可・届出制度は原則事後報告制度に改められました。これらの法改正は時代



# 主税局

## より良い税制のための不断の見直し

主税局は、総務課、調査課、税制第一課、税制第二課及び税制第三課の五つの課と、参事官室からなり、局長以下約190名の職員が、より良い税制を作るべく、税制の企画・立案、税制改正法案の作成や国会対応等に日々奮闘しています。税制は税務行政とも密接に関連することから、職員の7割弱を国税局や税務署出身の職員が占めているのが主税局の特徴です。

総務課では租税政策全般に関する企画・立案・租税収入の見積もり等、調査課では内国・外国税制の調査等、税制第一課では所得税・相続税等及び税務手続きに関する制度等の企画・立案、税制第二課では消費税及び酒税等の個別間接税に関する制度の企画・立案、税制第三課では法人税に関する制度の企画・立案、参事官室では外国との租税に関する協定等の企画・立案をそれぞれ担当しています。

経済社会の構造は常に変化を続けており、税制も不断の見直しが求められます。主税局では、経済社会の変化や国際情勢を踏まえてどのような見直しが必要か、例年秋から冬にかけて集中的に検討を行い、翌年の通常国会での税制改正法案の成立を目指します。主税局として近年取り組んでいる課題は、働き方の多様化の進展等に対応した所得税の見直し、経済のグローバル化やデジタル化等に伴う国際課税のルールの見直し等、多岐にわたります。



# 関税局

## 国際貿易の秩序ある発展に向けて

税関は、我が国の経済・社会秩序を維持するため、覚醒剤等の不正薬物や銃砲、知的財産侵害物品等の密輸取締り、輸出入貨物の通関、関税や消費税等の徴収等を行う行政機関です。

関税局は、この税関の司令塔としての機能を有する組織であり、税関行政に関する様々な政策や制度の企画・立案等を担当しています。具体的には、不正薬物や銃砲、知的財産侵害物品等の取締方針や制度の策定、警察等の関係機関や関係業界との連携や、IT化の推進等を行っています。

また、関税局は税関・通商分野での国際交渉や国際協力を担う機能も有しています。例えば、RCEP(東アジア地域包括的経済連携)等の経済連携交渉を始め、WTO(世界貿易機関)やWCO(世界税関機構)等における国際ルール作りへの貢献、外国税関との連携強

化を目的とした相互支援協定の締結、途上国税関に対する制度・人材育成の支援等、国際貿易の促進や日系企業の海外進出を後押ししています。

さらに、関税局・税関では貿易統計を発表しており、我が国の重要な経済指標の一つとして国内外で活用されています。このように、関税局は国民生活に直結する政策に従事するとともに、執行機関である税関との関わりが深い組織であることが特徴として挙げられます。



# 財務省を支える縁の下の力持ち

## 現在の業務内容

私が所属する大臣官房秘書課は、大臣等の秘書業務(日程管理や業務サポート)のほか、財務省職員の任用、採用、給与、服務、人事評価などに関する業務を行っており、いわゆる財務省の「人事課」です。その中で私は、秘書課自体の管理運営を行う総務係に所属しており、秘書課で対応する必要がある国会関連の連絡調整、課内の各担当に向けた各種周知や作業のとりまとめ、課内の物品の管理などを担当しています。また、当係では新年の大臣挨拶式や政務交代式典など、省全体の節目における行事の主催もしており、その際には大臣のご案内など最前線で準備や進行も行うこともあります。

大臣官房には、秘書課の他にも、省の全体業務の調整(国会対応含む)、広報など情報関連を行う文書課、省の予算や物品、庁舎などの管理を行う会計課、財務局組織を統括する地方課などがあります。予算や税制などを所管する政策部局と違い、一見地味に思われるかもしれませんが、希望ある社会のために日々奮闘する職員を支え、財務省組織全体がより良い方向を向いて運営されるように、各課とも縁の下の力持ちのような存在として、日々業務を行っています。

## 大臣官房を志望した理由

大臣官房は、財務省全体の総括的な役割として、財務省組織が一丸となって円滑に機能するた

めの重要な部署です。また、業務上、特定部局の担当者だけでなく、全部局の担当者ややりとりをすることが多く、様々な案件を通じて財務省全体を広く見渡し、各部局の業務や状況を知ることができ、若手職員の間には、大臣官房部局を経験できたことは、私にとって大きな財産となりました。一人前にはまだまだですが、いつの日か財務省を支え、社会に貢献できるようになるために今後とも精進していきます。

なお、当課で採用活動を担当していますので、皆さんが説明会に足を運ばれた際には、課の同僚の職員が対応いたします。その際は、ぜひ担当に声を掛けていただき、予算など各部局の業務のことだけでなく、大臣官房自体についての業務内容ややりがいについて質問してみてください。



大臣官房秘書課総務係  
横田 冴介 [平成30年入省]  
YOKOTA Sasuke



# 大臣官房

## 大臣官房概要

### 財務省の内部管理及行政事務の総合調整役

具体的には以下のような業務があります。

- 秘書課: 職員の人事・給与等
- 文書課: 国会窓口、機構・定員管理、広報等

- 会計課: 財務省の予算、庁舎管理等
- 地方課: 財務局との連絡・調整等
- 総合政策課: 経済情勢の調査・分析等

- 政策金融課: 政府系金融機関の監督等
- 信用機構課: 預金保険機構の監督等

## ITの利活用を通じて

### 現在の業務内容

大臣官房文書課は、国会関係業務をはじめとした、国の諸問題について方針を定め、財務省として最終的な意見を決定するための調整を行う部署です。その中でも私は業務企画室において、サイバーセキュリティ、行政情報化、働き方改革・業務効率化の業務に携わっています。ITはいまや社会基盤として必要不可欠なものとなっており、官公庁としても導入が進められていますが、同時にサイバー攻撃の脅威も高まることから、セキュリティ対策の重要性も増しています。また、時代にふさわしい仕事のやり方や働き方を追求し、多様な職員一人一人が活躍し、効率的に高い成果を上げるための業務改革も重要です。

これら情報システムの整備やセキュリティ対策等は財務省組織全体としても進めており、その責任者として、地方支分部局や他府省庁とも連携しながら各種調整事務を行っています。また、CIO(情報化統括責任者)補佐官と呼ばれる専門的・技術的知見を持つ方々にも協力を仰ぎ、様々な場面で支援を受けながら、財務省組織全体のために日々調整を行っています。

### 大臣官房の魅力・やりがい

財務省は、制度の企画・立案から執行に至るまでの行政機能が組織内に備っており、その中でも大臣官房は、組織全体を総括する役割を担っています。財務省として抱える課題解決に向

け、各部署の動きを把握しながら、質の高い政策作りに日々奮闘する職員を支えることを通じて、社会貢献することができます。

財務省組織全体としての取組は地道なものも多いですが、新型コロナウイルス感染症対策を契機としたテレワーク環境の整備やウェブ会議システムの普及・拡大に向けた業務等に携わり、働き方の変化を間近で感じています。自分が取り組んだ仕事が職員に還元され、わずかながらでも「業務改善・効率化に繋がった」と感じていただけたときは達成感を得ることができました。

業務内容としては想像しづらい分野ですが、日々変化する情勢の中で、単なる組織の調整事務のひとつとしてだけでなく、社会人としてのスキルアップにも繋がるため、やりがいを感じています。



大臣官房文書課  
業務企画室業務企画第一係  
山上 孝祐 [平成29年入省]  
YAMAGAMI Kosuke